

(資料 5-①の該当部分に関する補足資料)

評価指標と評価結果に関する具体的内容について

*評価は、A（得点が80%以上）、B（得点が50%以上）、C（得点が50%未満）で記載。

指 標		評 価 *	配 点	得 点	得 点 割 合
Ⅱ（４）在宅医療・介護連携		A	68	68	100.0%
都平均		B		49.1	72.2%
指 標	① 地域の医療・介護関係者等が参画する会議において、市町村が所持するデータのほか、都道府県等や郡市区医師会等関係団体から提供されるデータ等も活用し、在宅医療・介護連携に関する課題を検討し、対応策が具体化されているか。	A	10	10	100.0%
結 果 の 具 体 的 内 容	多摩市在宅医療・介護連携推進協議会を年3回実施し、医療・介護連携に関する課題や現状を話し合い、現状の課題整理と今後の取組について協議している。				
指 標	② 医療・介護関係者の協力を得ながら、切れ目なく在宅医療と在宅介護が一体的に提供される体制の構築に向けて必要に応じて、都道府県等からの支援を受けつつ、（４）①での検討内容を考慮して、必要となる具体的取組を企画・立案した上で、具体的に実行するとともに、実施状況の検証や取組の改善を行っているか。	A	10	10	100.0%
結 果 の 具 体 的 内 容	入退院時の連携に関して、連携課題の検討を多摩市病院相談員連絡会（平成30年度市内5病院参加、令和元年度市内7病院参加）で、現状の課題と問題について話し合い情報共有を行っている。また協議会での報告を行い、課題整理や今後の取組に反映させている。				
指 標	③ 医療・介護関係者間の情報共有ツールの整備又は普及について具体的な取組を行っているか。	A	8	8	100.0%
結 果 の 具 体 的 内 容	多摩市医師会が運用しているMCSの現状の把握と利用促進をするため、平成30年度ICT活用に関するアンケート調査を市内居宅支援事業所に実施した。アンケート結果を基に、令和元年度医療・介護関係者の研修において「MCS」の利用説明と情報共有ツールに関するグループディスカッションを実施した。				
指 標	④ 地域の医療・介護関係者、地域包括支援センター等からの在宅医療・介護連携に関する相談に対応するための相談窓口を設置し、在宅医療・介護連携に関する相談内容を、郡市区医師会等の医療関係団体との会議等に報告しているか。	A	10	10	100.0%
結 果 の 具 体 的 内 容	多摩市医師会に委託し、多摩市高齢者在宅療養支援窓口を設置している。月1回、多摩市高齢者在宅療養支援窓口と市との定例会を実施している。相談件数、相談内容、活動報告等を共有している。また、上記多摩市在宅医療・介護連携推進協議会（年3回）での報告を行っている。				
指 標	⑤ 医療・介護関係の多職種が合同で参加するグループワークや事例検討など参加型の研修会を、保険者として開催又は開催支援しているか。	A	8	8	100.0%

結果 の具 体的 内容	<p>研修部会が企画立案し、医療・介護関係者向けに年3回研修を行っている。 平成30年度医療・介護関係者研修 テーマ「多職種でのグループディスカッション」「認知症について」「地域ケア会議」 令和元年度医療・介護関係者の研修 テーマ「多職種でのグループディスカッション」「ACPを知ろう」「MCSを知ろう」</p>					
指 標	⑥	<p>関係市町村や郡市区医師会等関係団体、都道府県等と連携し、 退院支援ルール等、広域的な医療介護連携に関する取組を企画・立案し、実行しているか。</p>	A	10	10	100.0%
結果 の具 体的 内容	<p>平成30年度在宅医療・介護連携推進事業相談支援窓口担当者連絡会で、近隣5市（日野市、稲城市、町田市、八王子市、多摩市）で、現状や課題について意見交換を行った。</p>					
指 標	⑦	<p>居宅介護支援の受給者における「入院時情報連携加算」又は 「退院・退所加算」の取得率の状況はどうか。 【ア又はイに該当すれば加点】</p>	A	12	12	100.0%
結果 の具 体的 内容	<p>厚生労働省において、全保険者の上位3割または5割を決定する項目である。 ア 〇%以上（全保険者の上位5割）入院時情報加算 イ 〇%以上（全保険者の上位5割）退院・退所加算 以上の項目で、厚生労働省からA評価を受けている。</p>					